

# 環境活動レポート

2020年度  
(2020年2月 ~ 2021年1月)



大博鋼業株式会社

作成 2021年3月31日

## 1. 組織の概要

### ①事業所名および代表者氏名

大博鋼業株式会社  
代表取締役 山口 毅

### ②所在地

部署名	住所	人数
本社	大阪市西区九条南2-23-20	29
波除工場	大阪市港区市岡元町2-5-18	3
姫路営業所	姫路市飾磨区恵美酒下長301	14
四国営業所	香川県三豊市高瀬町新名下所519-1	15
福山営業所	広島県福山市神辺町川南818-3	17
広島営業所	広島県安芸郡海田町栄町6-10	13
福岡営業所	福岡県粕屋郡須恵町大字植木155-1	17
北陸営業所	石川県金沢市福久町カ-1	11

2021.1.31時点

### ③EA21責任者および担当者

環境管理責任者：代表取締役 山口 毅

担当者：同上

連絡先：

tel 06-6581-8340

fax 06-6583-3700

### ④事業の内容

鉄鋼卸販売業

### ⑤事業の規模

活動規模	単位	2018年	2019年	2020年
販売量	t	24,209	22,923	18,532
売上高	百万円	6,321	5,907	4,920
従業員	人	118	121	119
床面積	m2	11,192	11,192	11,192
クレーン3t	基	26	26	26
切断機械	台	37	37	37

### ⑥事業の経緯

弊社は昭和21年、磨シャフトの卸販売として創業以来、豊富な経験とお客様に恵まれ、その間安定した成長を続け、おかげさまで業界のトップクラスの地位をいただいております。

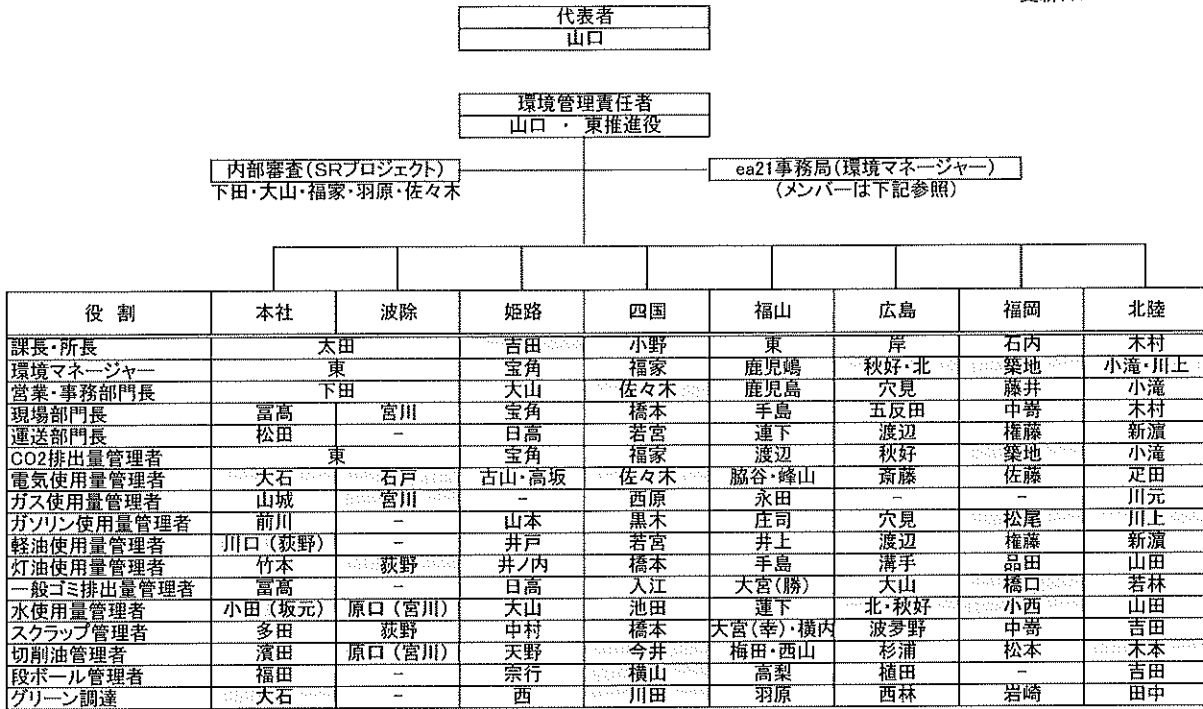
大博鋼業は「お客様との信頼感」を経営理念として21世紀を迎え、限りなく高度化や多様化、さらに合理化・省力化するお客様のニーズにお応えすべく、社員共々、尚一層お客様に信頼され、そして企業価値のある会社を目指してまいります。

お客様に時間・満足・情報をご提供し、「信頼という流通」の担い手になれるよう、努めてまいります。

今後とも、より一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

大博鋼業(株) ea21 実施体制図および役割・責任・権限表

作成者: 山口  
更新日: R3.2.1



変更箇所は黄色表示

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境目標・環境活動計画書・環境活動レポートを承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築・実施・管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ票を承認、及び遵守評価の承認</li> <li>環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境活動レポートの確認</li> </ul>
EA21事務局(環境マネージャー)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境目標・環境活動計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境活動レポートの作成と公開(事務所備付)</li> <li>自営業所の所長・部門長・管理者の補佐</li> </ul>
所長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自営業所における環境経営システムの責任者</li> <li>自営業所における環境方針の周知</li> <li>自営業所の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自営業所に関連する環境活動計画の進捗・達成状況の確認</li> <li>特定された項目の手順書及び運用管理の確認</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施</li> </ul>
管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>自部門の集計及び部門長への報告</li> <li>自部門の問題点の発見・是正・予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>
内部審査(SRプロジェクト)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業所の環境活動が環境方針に従って実施されているか審査</li> <li>特にスクラップ削減(SR)に注力</li> </ul>

# 環境経営方針

弊社は企業活動を通じて環境問題が人類共通の重要な課題であることを認識し、地球環境の保全や環境法規の遵守に努め、環境と調和した豊かな社会づくりに貢献します。

1. わが社は、鉄鋼販売卸売業の会社として全社員で協力し、環境経営システムを構築し、下記事項を重点テーマとして、効果的な取り組みを行います。
  - (1) 鉄鋼製品の切断時に発生する端材を有効活用し、不良スクラップ量の削減に努めます。
  - (2) 電気・水・燃料等、CO2・資源・エネルギーの使用量削減に努めます。
  - (3) 一般廃棄物の排出量削減につとめます。
  - (4) 積極的にグリーン購入につとめます。
2. 環境関連法規、各市町村条例を遵守致します。
3. この環境経営方針をもとに環境目標を定め、見直し・改善を行い、環境管理レベルの向上を図ります。
4. 以上の環境経営方針を全社員に周知徹底し、環境に対する意識を各々高め会社全体の環境保全に努めます。
5. 経営における課題とチャンスを踏まえて、経営します。
6. 環境経営の継続的改善を誓約します。

また、エネルギー費用やスクラップの削減だけでなく、不良スクラップを抑えることで、ミスの軽減にもつながり、お客様への信頼も厚くなり、持続的に継続することによって、売上数字を伸ばすことを目的といたします。

作成：平成23年4月 1日  
改訂：令和 3年2月15日  
大博鋼業株式会社  
代表取締役社長 山口 毅

### 3. 環境目標と実績

#### ①環境負荷の現状

基準年

項目	単位	2013	2017	2018	2019	2020
CO2排出量	kg-CO2	550,328	621,518	645,194	630,669	560,047
一般廃棄物排出量	kg	7,155	7,027	7,173	7,429	5,905
水使用量	m3	1,470	1,692	1,654	1,588	1,525
スクラップ排出量	kg	200,450	290,159	351,520	364,192	291,956
グリーン購入(純増数)	品目数	17	10	14	15	-

2016年度2月より北陸営業所の数値が加算されている。

\*CO2排出量算出に用いた電力の排出係数は 0.355(関西電力参照値)とした。  
但し、2018年度から採用する排出係数は 0.493(関西電力参照値)としている。

#### ②目標設定と実績、および今年度以降の目標

項目	単位	実績		目標		
		2013 (基準年)	2020	2021	2022	2023
電気使用量	kWh	456,340	4%増加 474,740	8%削減 419,833	9%削減 415,269	10%削減 410,706
灯油使用量	L	3,436	48%削減 1,781	8%削減 3,161	9%削減 3,127	10%削減 3,092
一般廃棄物排出量	kg	7,624	23%削減 5,905	8%削減 7,014	9%削減 6,938	10%削減 6,862
水使用量	m3	1,736	12%削減 1,525	8%削減 1,597	9%削減 1,580	10%削減 1,562
ガソリンの燃費	km/L	11.54	28%向上 14.79	8%向上 12.46	9%向上 12.58	10%向上 12.69
軽油の燃費	km/L	7.49	1%向上 7.57	8%向上 8.09	9%向上 8.16	10%向上 8.24
不良スクラップ発生件数	件数	1095	34%削減 728	12%削減 964	15%削減 931	18%削減 898

※当社は、2011年4月よりEA21認証取得に向かって、環境活動に取り組んできた。  
2012年からは、ガソリン・軽油では「使用量削減」から「燃費向上」へ、スクラップでは  
「使用量削減」から「原単位削減」へ目標を変更した。  
さらに2018年からは、スクラップの「原単位削減」から「不良スクラップ発生件数の  
削減」へ目標を変更する。

(備考)上記の%は、2013年実績を基準年として削減率を示す。

但し、北陸(営)の計測は平成27年より開始したため、その数値の中で  
北陸(営)については基準年を2015年として加味している。

不良スクラップ発生件数については、基準年度は2017年としている。

都市ガス及びLPGについては、微量につき使用量の把握は行わぬが、数値目標設定は行わ  
ない。また、切削油及び段ボールについても同様、把握はするが数値目標設定は行わぬ。  
グリーン購入については、スタートしてから10年が経過し、これ以上大きく純増する  
アイテムが見当たらないため、2020年から計測を中止した。

化学物質は使用していないため、目標は設定しない。

自らが生産・販売・提供する製品及びサービスに関する項目は「不良スクラップ発生件数」  
です。

#### 4. 主な環境活動計画の取組結果と評価

各事業所ごと(本社+6営業所)に取り組みを設定。  
代表として本社の環境活動計画をP8-9に添付する。

## 5. 環境活動の取組結果の評価(詳細)

### 2020年実績の評価

項目	単位	実績	目標	達成率	評価
				実績/目標	
電気使用量	kWh	474,740	542,033	88%	○
灯油使用量	L	1,781	3,538	50%	○
一般廃棄物排出量	kg	5,905	7,694	77%	○
水使用量	m3	1,525	2,027	75%	○
ガソリンの燃費	km/L	14.79	12.23	121%	○
軽油の燃費	km/L	7.57	7.94	95%	×
不良スクラップ発生件数	件	728	769	95%	○

2020年度の目標は概ね2013年の実績から7%減少(あるいは7%向上)の値としている。但し、電気使用量・一般廃棄物排出量・水使用量については各事業所からの事情に基づいた目標値の合計を挙げており、必ずしも7%減ではない。

#### ①電気使用量の削減

波除工場・姫路(営)にて是正処置報告書が発行されたものの、その他の事業所では、概ね順調に推移し、計画達成(88%)。

#### ②灯油使用量の削減

順調に計画達成(50%)。

#### ③一般廃棄物排出量の削減

順調に計画達成(77%)。

#### ④水使用量の削減

本社にて是正処置報告書が発行されたものの、順調に推移し計画達成(75%)

#### ⑤ガソリンの燃費向上

順調に計画達成(121%)。  
年々、燃費の向上した営業車に切り替わっているのが要因と推測。

#### ⑥軽油の燃費向上

目標に向かって努力したものの計画未達成(95%)。  
基準年度と比較し、客席件数が増加し小ロットでのデリバリーが増えていることが要因と推測される。

#### ⑦不良スクラップ発生件数の削減

本社・波除工場・福山(営)にて、計測基準の変更に伴う増加があり是正処置報告書を発行したが、その他の営業所では、概ね順調に推移し、計画達成(95%)。

## 6. 環境関連法規等への違反の有無

環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無については、弊社に適用される主な環境関連法規等の一覧及びそれらの遵守状況を確認した結果として、環境関連法規への違反はありません。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。環境法規等の訴訟とは過去3年間ありません。

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物・産業廃棄物(廃油)	適法
騒音・振動規制法	空気圧縮機	適法
消防法	スプレー缶・灯油・防錆油	適法
NOX・PM法	営業車・トラック	適法
水質汚濁法	切削油等	適法
下水道法	下水道	適法
浄化槽法	浄化槽	適法
フロン排出抑制法	業務用エアコン	適法

## 7. 次年度の取り組み

2021年度については、「環境活動計画」を下記の如く削除・変更・追加を行う。

<削除>

今年度は削除項目はありませんでした。

<追加・変更>

事業所	項目	計画	理由
本社	スクラップ	クレーム報告0件/月	更なる改善を目指すため追加
姫路	スクラップ	不良スクラップ廃棄時に記入表に記入	
四国	スクラップ	SR取組み内容の周知	
福山	電気	退出時は事務所電気の切忘れを確認	
	スクラップ	SR定義書による計測 ヒヤリハットの活用	
広島	燃費	アイドリングストップの利用	
福岡	電気	残業時は必要な電気だけ使用	
北陸	一般ごみ	客先への見積回答等をメールで行う	
	スクラップ	SR不良スクラップの調査・削減	

## 8. 代表者による全体の評価と見直しの結果

<環境方針>

昨年7月に変更した環境方針が従業員に周知されており、引き続きこの内容で取組。また、今期は経営に直決した具体的なアイデアがどんどん発案されるよう促進していきたい。

<目標・環境活動計画>

今期は計測の不備や是正処置報告書の大きな発行遅延はなかった。しかし、コロナ禍で教育訓練が滞った営業所もあった。そのため、今期はコロナ禍であっても、回覧・メール・貼り出し等で工夫して教育訓練をおこなってほしい。

「ea21がんばったで賞」は全項目を目標達成した姫路(営)に贈呈する。

<環境経営システムの各要素>

前期開催できなかった基準年度を見直す会議をリモートにて開催する。(2021年5月予定)  
不良スクラップ発生件数に焦点を絞った内部審査を開催できた。(2020.10~12)  
そこで不良スクラップの定義を明確化できたため、今期は新たな目標「不良スクラップ=ゼロ」に向けて頑張ってもらいたい。





